

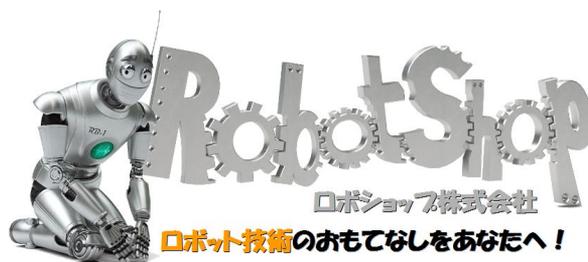


litter·robot open·air™

Automatic Self-Cleaning Litter Box

取扱説明書

手間のかからない
自動掃除猫トイレ



目次

重要 - 最初にお読みください	3
はじめに	4
トイレロボットの開梱と準備	5
猫にトイレロボットを使ってもらおう	8
各部の名称と機能	9
操作パネル - ボタンの機能	10
[操作パネル] - インジケータライト	13
ゴミ受けトレイ満タンのお知らせ	14
内部シールドとキー	15
ステップマット	15
8時間スリープモード	16
待機時間設定	16
操作パネルのロック	16
使用方法とお手入れ	17
ゴミ受けトレイにシートを取り付ける	17
カーボンフィルター	18
ベースシール	18
トイレロボットを空にする	19
ドームのお手入れ	19
ゴミ受けトレイのお手入れ	19
ベースのお手入れ	19
ドームとカバーの再取り付け	19
安全機能	21
挟み込み防止機能	21
返金保証と製品保証	22
90日間のお試し期間	22
18ヶ月の完全保証	22
カスタマーサービスへのお問い合わせ	22
よくある質問	23
トラブルシューティング	25

重要 – 最初にお読みください

- このトイレロボットは子猫や体重2.5Kg未満の小さな猫にはお勧めできません。
- トイレロボットを自動モードにする前に、猫の体重が猫センサーが検知できる重さであることをご確認ください。
- トイレロボットが平らな場所に置かれていることをご確認ください。毛足の長いカーペットの上で使用すると感度に影響する場合があります。
- 固まる猫砂以外のものを入れないでください。回転するドームは、水と洗剤で丸洗いできます。
- 猫を無理に押し込まないでください。
- トイレロボットの上に腰掛けたり、物を置かないでください。
- 装置の回転中は、ドームやカバーを外さないでください。
- 髪の毛や指が回転する歯車などに挟まれる危険があるため、ドームを外した状態で電源をオンにしないでください。
- ベースやカバーは 濡らしたり洗ったりしないでください。
- 猫以外、本来の用途以外には使用しないでください。
- ドームの回転はとて強い力で動きます。作動中のドームに触れて指や手を挟んだり、猫がいたずらをしないようにご注意ください。
- 使用中に、トイレロボットや猫に異常がみられた場合、ただちに使用をお止めください。
- 火のそばや直射日光など、高温多湿になる場所に設置しないでください。
- トイレロボットは安全機能が搭載されていますが、過信せずに注意してご利用ください。

はじめに

全自動猫用トイレロボット Litter-Robot™ オープンエアをお買い上げいただきありがとうございます。

AutoPets(自動ペットケア用品株式会社)は、ペットを幸せにし、飼い主の手間を省く製品の開発を目指しています。この説明書で、オープンエアの効果的な使い方をお読みください。使用方法だけでなく、猫がこの自動セルフクリーニング猫トイレに慣れて使うようになるための便利なヒントやアドバイスもご覧ください。

大容量で生物工学に基づいたデザインの猫トイレオープンエアにはさまざまな機能があります。将来必要になる場合に備えて、この説明書を大切に保管してください。ウェブサイトからダウンロードすることもできます。

トイレロボット オープンエア を、90日間ご家庭でお試ください。ご満足いただけない場合、90日以内に返品していただければ理由を問わず全額返金させていただきます。返品時の送料はお客様のご負担となります。試用期間中のお問い合わせや、試用期間延長などのご相談は 088-635-0277 までお電話いただくか japan-support@robotshop.com までメールでお問い合わせください。

ロボットトイレで掃除の手間から開放されましょう！

ブラッド・バクスター

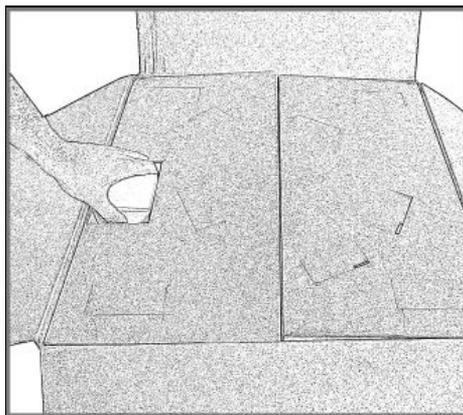
社長

AutoPets

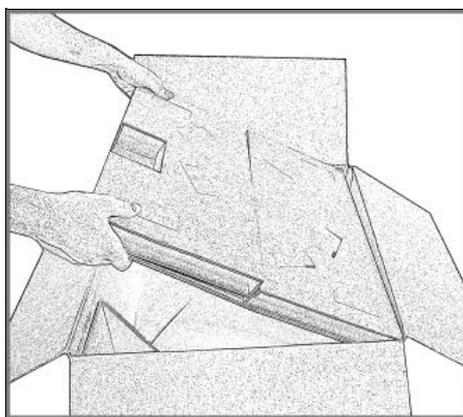
(Automated Pet Care Products, Inc.)

トイレロボットの開梱と準備

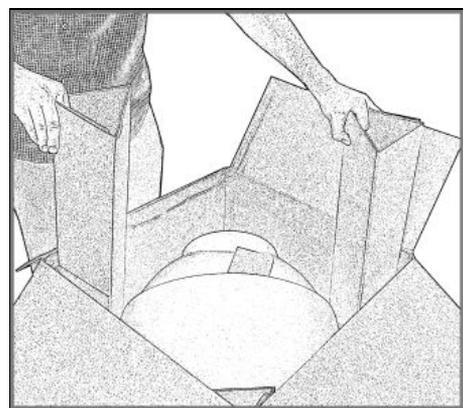
トイレロボットは組み立て済みのため、そのままご利用いただけます。
箱の上下を確認します。内箱のポケットに入っている電源を取り出します。



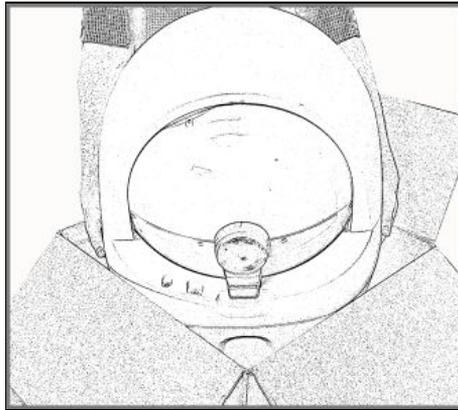
段ボールの内箱を取り出します。



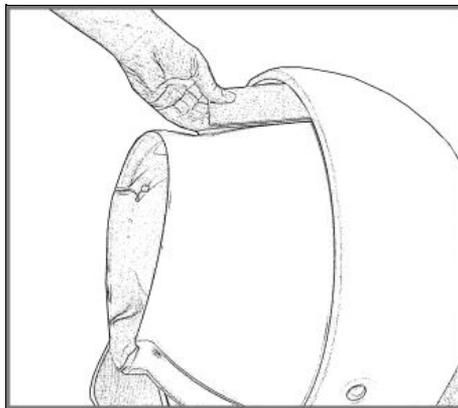
角に入っている段ボールの緩衝材を取り出します。



本体の脇から手をいれ、底部のハンドルに指をかけ持ち上げるように、箱から本体を取り出します。本体重量は12kgです。後で使用する場合に備え、箱をカッターなどで切ったり折り曲げたりしないでください。



外カバーとドームの間に挟まれた段ボールのスペーサを取り外します。



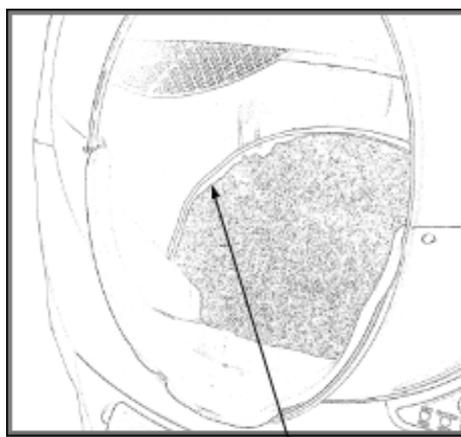
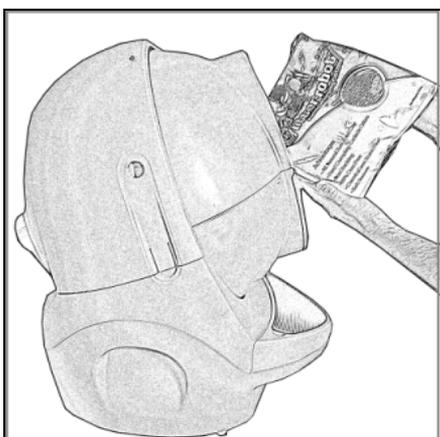
可能であれば、元のトイレと同じ場所にトイレロボットを設置します。トイレロボットは平らな硬い場所に置いてください。

1. ドームの中に猫砂を入れます。トイレロボットが正しく機能するためには、**固まるタイプ**の猫砂が必要です。品質の良い鉱物系の固まる猫砂がお勧めです。粒の大きさが清掃用の網を通り抜ける固まらないタイプの猫砂もご利用いただけますが、定期的な交換が必要になります。トイレロボットで使用できない猫砂は、吸収タイプ、固まらないタイプ、再生新聞紙タイプ、固まる力が弱いもの、吸収タイプの木質ペレットなどです。これ以外のタイプを使用している場合には、使用できるかどうか、japan-support@robotshop.comまでお問い合わせください。

始めてトイレロボットをお使いになる時は、これまでと同じ猫砂をご使用になることをお勧めします。トイレと砂を同時に変えることで猫が警戒してトイレに慣れない可能性が高くなります。ただし、それまで固まらないタイプの猫砂を使用していた場合は、固まるタイプの猫砂に切り替えてください。

最初に入れる猫砂の量は、4.5～5Kg、約5L(容量)です。

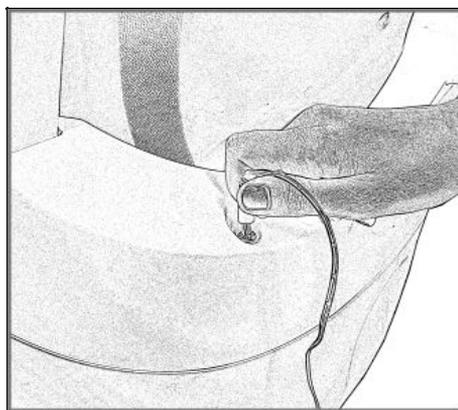
猫の出入り口から固まる猫砂をいれてください。猫砂をいれたらドームの底に猫砂を広げます。適量ラインまで入っていることを確認してください。猫砂が適量ラインを超えないようにしてください。



黒いゴム製ライナーが適量ラインとなります。

ヒント！ 最初に猫砂を入れる際に、箱の角に入っていた緩衝材を漏斗のように使うと入れやすくなります。

2. ベースユニット背面のソケットにAC/DCアダプターケーブルの小さいプラグを差し込みます。



3. 次に壁のコンセントにAC/DCアダプタを差し込みます。
4. 電源ボタンを押してください。電源がオンになると、およそ2分半の初期化運転を行います。初期化運転が終わると、ドームはホームポジションで停止し青色のLEDが点灯します。これで、トイレロボットの準備は完了ですが、猫がトイレロボットに慣れるまでは電源をオフにしておくことをお勧めします。

ヒント！ 始めて使用する場合、トイレロボットに入れた新しい猫砂の上に元のトイレの猫砂を1カップ分ほどかけると猫が新しいトイレに慣れやすくなります。猫が嗅ぎ慣れた匂いが付くためです。次の「猫にトイレロボットを使ってもらおう」では、もっと多くのヒントをご紹介します。

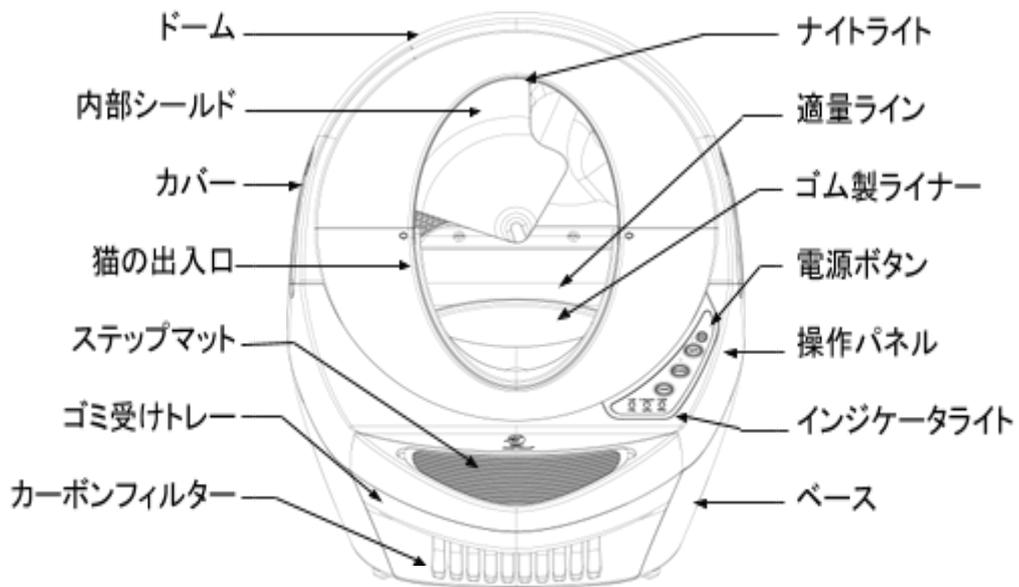
猫にトイレロボットを使ってもらおう

ほとんどの猫は、すぐにトイレロボットに慣れてくれます。次の手順をお試してください。

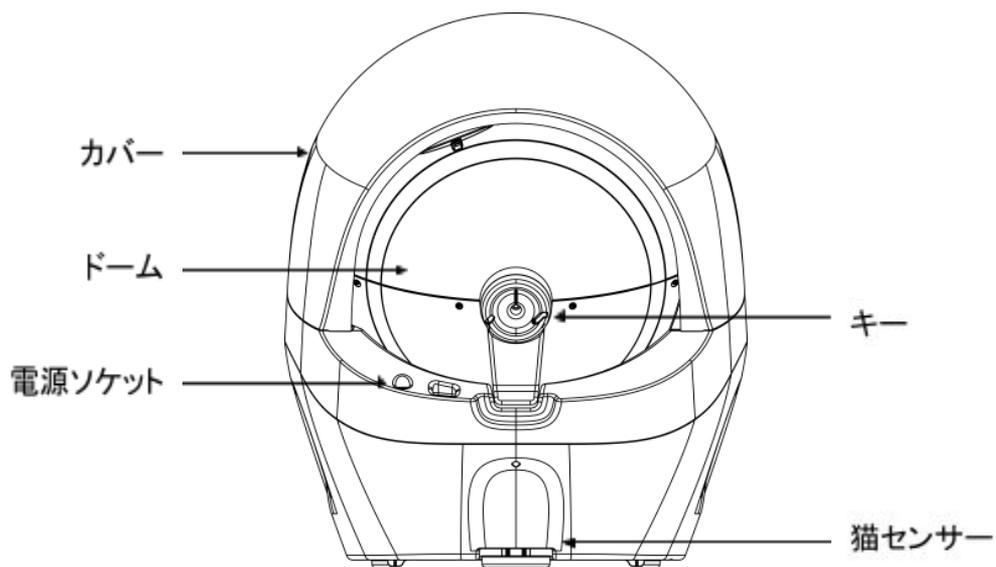
- トイレロボットを元のトイレと同じ場所に置きます。トイレロボットを説明通りに準備し(ドームに猫砂が入っていることを確認します)、電源をオフにします。数日間、猫の様子を見させます。猫がトイレロボットに興味を示さない場合、またたびや好きなおやつなどで、トイレロボットの近くに誘ってみましょう。
- 元のトイレの猫砂をひとすくいほどトイレロボットの猫砂にかけてみます。これで慣れたトイレの匂いがつきます。
- 本体近くにおやつを置いておくと、さらに興味を持つようになるでしょう。
- 好奇心旺盛な猫は箱に入るのが大好きなので、元箱に出入り口と引き出し用の穴を開け、本体の上にかぶせてみるのも効果的です。
- 猫がトイレロボットを使ったら、電源を入れて手動運転ができます。その時に猫が近くにいれば、猫がトイレロボットの動きを観察して音に慣れ、安心して使えるようになるチャンスです。クリーニングが完了し、ドームがホームポジションに戻ったら、再び電源をオフにします。猫がトイレロボットを使い始めたら、元のトイレは掃除しないようにしましょう。
- 数日たっても、猫がトイレロボットを使用しない場合には、元のトイレの猫砂を掃除しないままできるだけ長く使ってみてください。きれい好きな猫が元のトイレを使わずに清潔なトイレロボットを使うようになるかもしれません。また、トイレトレーニングのために別の猫砂を使うことも検討してください。
- 猫がいつもトイレロボットを使うようになったら、電源をオンにしてオートマチックモードのままにしておきます。これで元のトイレは不要です。

おめでとうございます、トイレロボットの導入に成功しました。これで猫砂の掃除から開放されます！

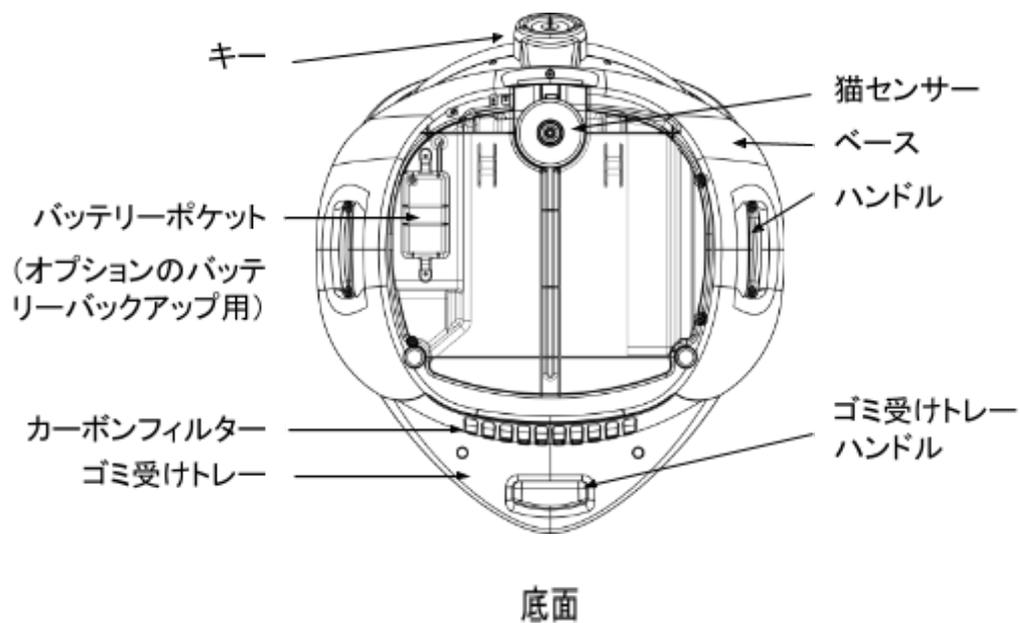
各部の名称と機能



正面
ホームポジション時

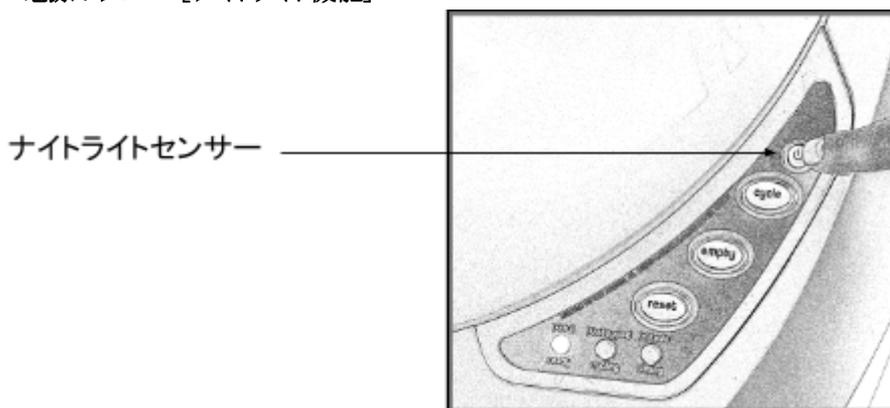


背面
ホームポジション時



操作パネル - ボタンの機能

1. 電源ボタン + [ナイトライト機能]



押してすぐ離す: 電源のオン、オフ

長押し: ナイトライトのオン、オフ

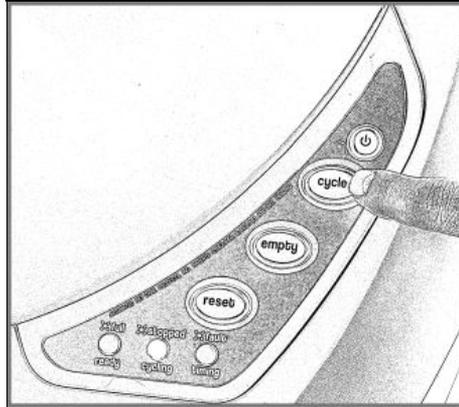
1. ナイトライト機能が既に有効でライトが点灯している場合はライトが消灯し、ライトが消灯している場合(周囲光が明るい)は機能が無効化したことを示すためにライトが点灯後、消灯します。

2. ナイトライト機能が無効で周囲光が明るい(日光など)場合、機能が有効になったことを示すためにライトが点灯後、消灯します。周囲光が暗い(暗い室内など)場合には、ライトは点灯したままです。

ナイトライト機能の状態は、操作パネルの**サイクル**ボタンの上にある光センサーを覆い、ナイトナイトが点灯するかどうかでいつでも確認できます。

ナイトライトの設定は、電源をオフにしても記憶されています。

2. サイクルボタン + [8時間スリープモード]

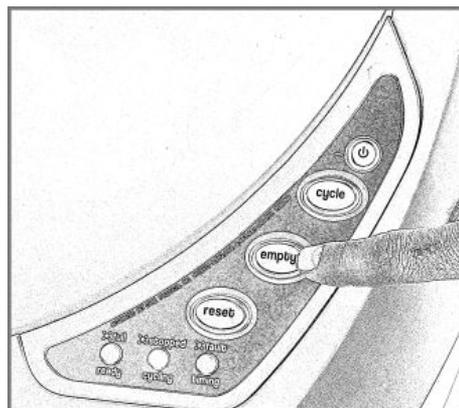


押してすぐ離す: **サイクル**ボタンを押すとトイレロボットのクリーニングが始まります。操作パネルのいずれかのボタンを押すと、クリーニングは一時停止します。もう一度**サイクル**ボタンを押すとクリーニングを再開します。

クリーニングを中止するには、操作パネルのいずれかのボタンを押して一時停止し、**エンプティ**ボタンか**リセット**ボタンを押してドームをホームポジションに戻します。

長押し: **サイクル**ボタンを長押しすると8時間のスリープモードになります。スリープモードになると、青色のLEDと同時に黄色のLEDが点灯します。8時間のスリープモード中、猫センサーは機能しないためクリーニングは**サイクル**ボタンを押した時だけ行われます。8時間経過後、すぐにクリーニングが開始され、青いLEDのみの点灯となり猫センサーが有効になるとともにホームポジションに戻ります。初期設定では、8時間スリープモード(猫センサー停止)は24時間毎に繰り返されます。**サイクル**ボタンを長押しで8時間スリープモードは終了します。スリープモード中でない場合の長押しは黄色のLEDが点灯後に消灯し、このモードが終了していることを示します。

3. エンプティボタン + [待機時間設定]



押してすぐ離す:ドーム内の猫砂をすべてゴミ受けトレイに落とします。いずれかのボタンを押すとホームポジションに戻ります。

長押し: 待機時間設定モードに入ります。モードに入ったことを示すためにLEDが点滅します。**リセット**ボタンを押すことで待機時間が切り替わります。

青色の点滅:3分

黄色の点滅:7分

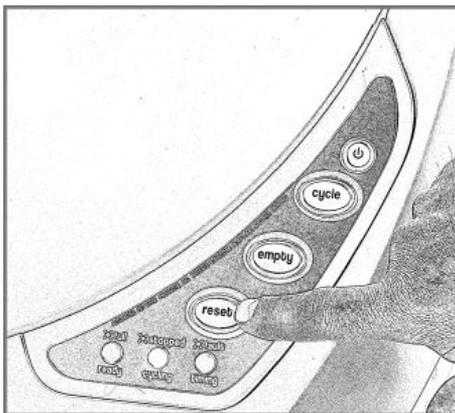
赤色の点滅:15分

エンプティボタンの長押しで設定を保存します。

待機時間とは、猫がトイレロボットを出てからクリーニングを始めるまでの時間です。

待機時間を短くすることは、排泄物の臭い、他のペットが排泄物に触れる機会を減らすことに役立ちます。しかし、待機時間が短いと十分なクリーニングができない場合があります(砂が固まる時間が足りない場合)。固まる力が弱かったり時間がかかる猫砂を使う場合には待機時間を長くしてください。

4. リセットボタン + [操作パネルのロック]



押してすぐ離す:クリーニング中にリセットボタンを押すとクリーニングは一時停止します。青色のLEDが点灯しホームポジション状態にある場合は猫センサーの基準値のリセットになります。

長押し:リセット ボタンの長押しで、青色のLEDが一時的に点滅し操作パネルがロックされます。この設定により、自動モードのまま操作パネルのすべてのボタンがロックされます。この状態でも、**電源**ボタンを3秒間長押しすることで電源をオフにすることができます。リセットボタンの長押しで操作パネルのロックは解除されます。青色のLEDが一時的に点滅し、ロックが解除されたことを示します。

[操作パネル] - インジケータライト

青色LED点灯(正常/待機中)

トイレロボットが正常に機能し、猫が使える状態になっていることを示します。

青色LED点滅(ゴミ受けトレイ満タンのお知らせ)

ゴミ受けトレイがほぼ一杯になっていることを示します。ゴミ受けトレイを空にしてから、リセットボタンを押して点滅を止めます。

黄色LED点灯(クリーニング中/使用中)

トイレロボットがクリーニング中か猫砂の排出中であることを示します。

黄色LEDが1秒に1回点滅(猫センサーやカバーの取り外しによる中断)

1. クリーニング中(または猫砂排出中)に猫がドームに入ったことを猫センサーが検知するとクリーニングは停止し、黄色のLEDが1秒に1回点滅します。猫がドームから出た15秒後にクリーニングを再開します。
2. クリーニング中かドームがホームポジションにある時にカバーが外されると、(クリーニング中の場合)トイレロボットは停止し黄色のLEDが1秒に1回点滅します。
3. カバーが付けられてから5秒後にクリーニングを再開します。

黄色のLEDが1秒に2回点滅(挟み込み防止機能による処理中断)

処理中に挟み込み防止機能が働くと、ドームの回転が停止し逆方向に2秒間回転した後再び停止します。黄色のLEDが1分間毎秒2回点滅します。1分後、黄色のLEDの点滅が停止し、ドームはホームポジションに戻るために回転を始めます。

赤色LED(センサー/タイミング)

赤色のLEDは猫センサーが機能していることを示します。トイレロボットは、設定に応じて3分後、7分後、15分後に黄色のLEDが点灯しクリーニングを始めます。初期設定は7分後です。

備考

設定された時間内に猫センサーが働くと、カウントダウンはリセットされます。改めて設定された3分、7分、15分が経過するまでドームは回転しません。リセットボタンを押すことで、いつでもカウントダウンの取り消しができます(赤いLEDが点灯)。

赤色LED点滅(猫センサーの不具合)

赤色LEDの点滅は、猫がドームの外にでないために2分間以上センサーが働いているか、猫砂の入れすぎによる重量オーバーを示します。

猫センサー

トイレロボットの猫センサーは、猫の出入りを検知する重量感知スイッチです。

センサーが働くためには、猫の体重が2.5Kg以上必要です。子猫や体重が2.5Kgに満たない猫には、トイレロボットを使用しないでください。

トイレロボットを自動モードにする前に、お飼いになっている猫の体重が猫センサーが反応するのに十分であることをご確認ください。

トイレロボットが平らな場所に置かれていることをご確認ください。毛足の長いカーペットの上で使用すると感度に影響する場合があります。

猫センサーはステップマットにかかる重さを検出しませんが、これは意図的なものです。猫センサーはドーム内の重量を検出します。

猫がドームから出た後の7分間(標準設定)のカウントダウンを始めるために使われるものです。カウントダウンが終了すると、クリーニングが始まります。カウントダウン中に猫センサーが再度作動すると、改めて7分間のカウントダウンを開始し、内部に猫がいる状態でドームが回転することを防ぎます。この時間設定は、**エンプティボタン**を5秒間長押しした後に、**リセットボタン**を押すことで変更できます。

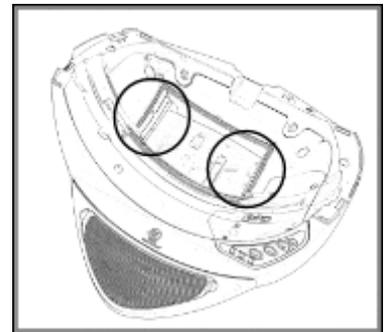
(青:3分間、黄:7分間、赤:15分間)

注意:

無人の状態ですべてのモード運転を始める前に、猫の体重が2.5Kg以上あることを必ず確認してください。猫センサーが猫を検知するためには、最低2.5Kgの体重が必要です。

ゴミ受けトレイ満タンのお知らせ

トイレロボットのゴミ受けトレイの上にはトレイが一杯になったことを検知するための赤外線センサーがあります。トレイが一杯になると操作パネルの青色のLEDが点滅します。ゴミ受けトレイは、ドームがホームポジションに戻るたびにチェックされます。最初のゴミ受けトレイ満タンのお知らせは、青色のLEDが点滅し猫のセンサーは機能したままです。その後2回のクリーニングの後もトレイが一杯な状態が続くと、猫センサーは機能を停止し、トイレロボットは動かなくなります。トレイの状態を確認するか、空にした後に**リセットボタン**を押すことでお知らせランプを消すことができます。

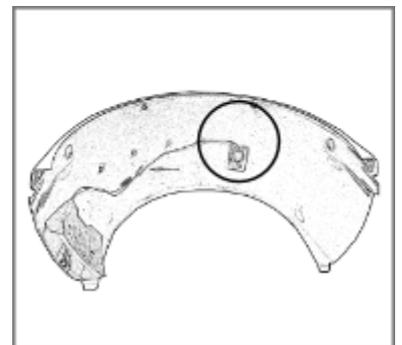


自動ナイトライト

一般的に猫は暗い場所でも物を見ることができますが、加齢と共にその機能も低下していきます。カバー上部に付いている自動ナイトライトは、高齢の猫が窓のない地下室のような極端に光が少ない環境でトイレを見つけるためのものです。電源ボタンの左下にある光センサーにより、ナイトライトは自動的に点灯/消灯します。ナイトライト機能は、**電源ボタン**の長押しでオン/オフを切り替えます(10ページ「操作パネル - ボタン」セクションの電源ボタンをご覧ください)。

カバー

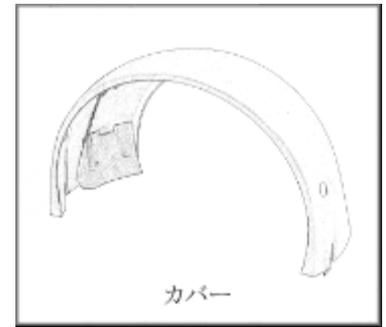
カバーは、回転するドームと、ドームに開いた廃棄口を保護します。また、カバーには自動ナイトライト、配線、ナイトライトに安全な低電圧5V DCの電気を供給する電気端子が付けられています。ドームは、カバーが取り付けられていないと回転しません(13ページ「操作パネル - インジケータライト」の黄色LED点滅をご覧ください)。



カバー裏側のナイトライト

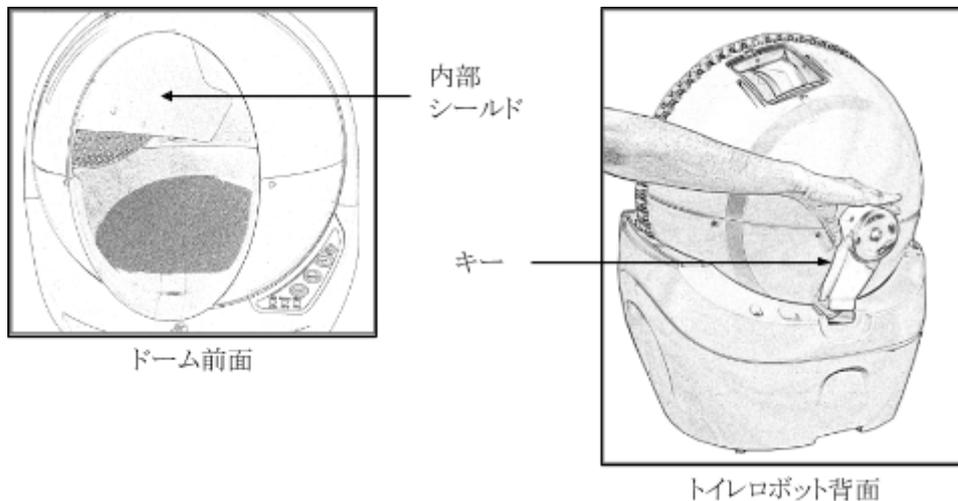
カバーの取り付けは、カバー底面後部のタブをベースの小さな穴に差し込み、手前に倒すようにカバー底面前部のスナップを対応するスロットにロックさせます。

スナップ上部の穴はカバーの取り外しや取り付けの際に指をかけるのに便利です。(カバーの取り付け方は、19～20ページをご覧ください)



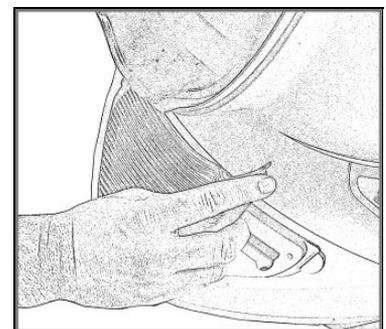
内部シールドとキー

内部シールドは、ドーム内側左上部にあります。これは、ドーム内部の猫が使用するスペースと処理スペースの境になるものです。処理中の内部シールドの位置は、ドーム背面のキーにより制御されます。キーがベースの所定の位置にあることを確認してください。内部シールドとキーは使用しなくても、トイレロボットの機能に支障はありません。



ステップマット

柔軟で着脱可能なステップマットは、出入り時のスリッパを防止し、猫の足に付いた猫砂を落とします。ステップマットに落ちた砂は、マットを取り外し逆さまにして折り曲げるだけで取り除くことができます。



8時間スリープモード

このモードでは、猫センサーを8時間無効にすることでクリーニングが自動的に行われないようにします。このモードは、寝室などに置いたトイレロボットの自動クリーニングを8時間停止したい場合に役立ちます。

このモードは24時間ごとに繰り返されます。開始時間は最初にこのモードを設定した時間になります。

このモードの開始時間をお好みの時間に設定するには、**サイクルボタン**を黄色のLEDが点灯するまで長押しします。黄色と青色のLEDが点灯し、8時間のスリープモードになります。

8時間が経過するとクリーニングが始まります。ドームがホームポジションに戻ると、青色のLEDだけが点灯します。再び8時間のスリープモードが始まると、黄色と青色のLEDも再び点灯します。

このモードを終了するには、**サイクルボタン**を黄色のLEDが消灯するまで長押しするか、青色のLEDだけが点灯している場合(8時間のスリープモード時間外)には黄色のLEDが点滅後に消灯してモードの終了を示すまで長押しします。

待機時間設定

猫がトイレの外に出てからクリーニングが始まるまでの時間は、3分後、7分後、15分後から設定できます。初期設定は7分後です。

待機時間を短くすることは、排泄物の臭い、他のペットが排泄物に触れる機会を軽減することに役立ちます。しかし、待機時間が短いと十分なクリーニングができない場合があります(砂が固まる時間が足りない場合)。

固まる力が弱かったり時間がかかる猫砂を使う場合には待機時間を長くしてください。

エンプティボタンの長押しで待機時間設定モードになります。LEDの一つが点滅し、現在の待機時間設定を示します。**リセットボタン**を押すたびに次の設定に切り替わり、長押しで設定が保存されます。

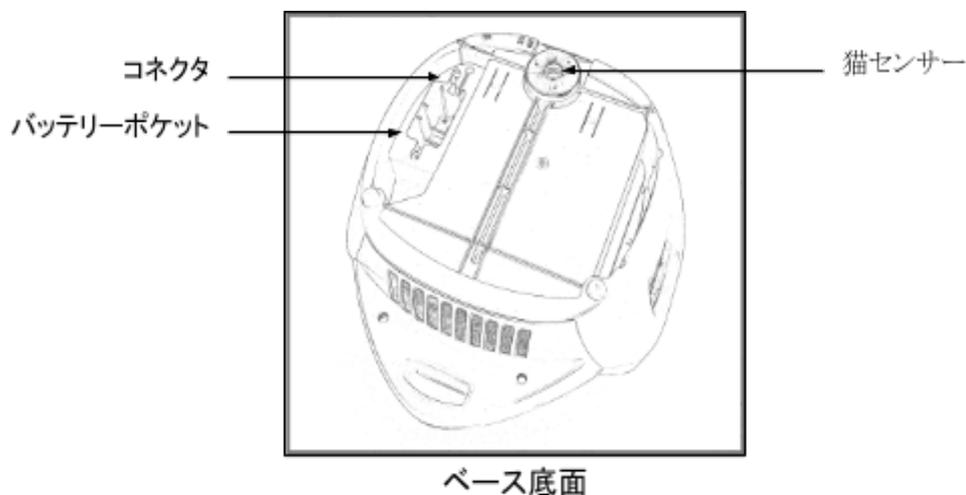
操作パネルのロック

操作パネルのロック機能は、子供(あるいは、ペット)がボタンを押して不要なクリーニングをすることを防ぎます。ロックされていても、トイレロボットは自動モードで正常に機能し続けます。

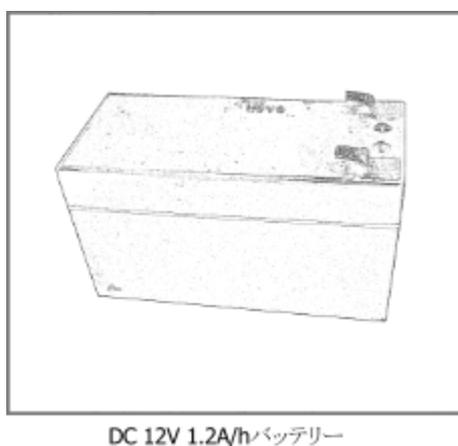
青色のLEDが点滅するまで **リセットボタン**を長押しすることで操作パネルはロックされます。

また、**リセットボタン**の長押しでロックは解除されます。青色LEDが点滅して、ロックが解除されたことを示します。

操作パネルがロックされていても、**電源ボタン**を3秒間長押しすることで電源をオフにすることができます。バックアップ バッテリー トイレロボットのオプションにはバッテリーバックアップがあります。DC 12V 1.2A/hのバッテリーパックを使用することにより停電中も使用を続けることができます。バッテリーポケットとコネクタがベースの底面にあります。



注:バッテリーバックアップキットは、当社ウェブサイトで購入できます。(カスタマーサービス 088-635-0277 までお問い合わせいただくか、www.robotshop.com/jpをご覧ください)。



トイレロボットへの電力供給が途絶えた場合、自動的にバッテリーバックアップモードに切り替わり、電源 ボタンのバックライトが黄色に点灯します。

バッテリーバックアップモードでバッテリーを節約するには、ナイトライト機能が無効になっていることを確認してください。

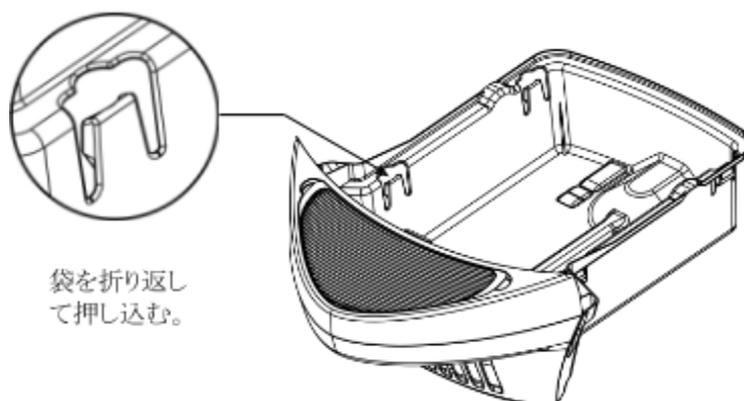
また、バッテリーバックアップモードでは、8時間スリープモードのタイマーは停止します。

使用方法とお手入れ

ゴミ受けトレイにシートを取り付ける

トイレロボットのゴミ受けトレイには出荷時にシートが取り付けられています。また、その下に交換用の2枚のシートが付属しています。付属のシートは、生分解性を備えトイレロボット専用に使われていますが、30～50Lのゴミ袋でも問題なく使用できます。

ゴミ受けトレーにシートやゴミ袋を取り付けるには、袋の口を開いて折り返し、折り返した部分を引き出しの固定用タブに、後ろのタブから前のタブの順番で押し込みます。



袋を折り返して押し込む。



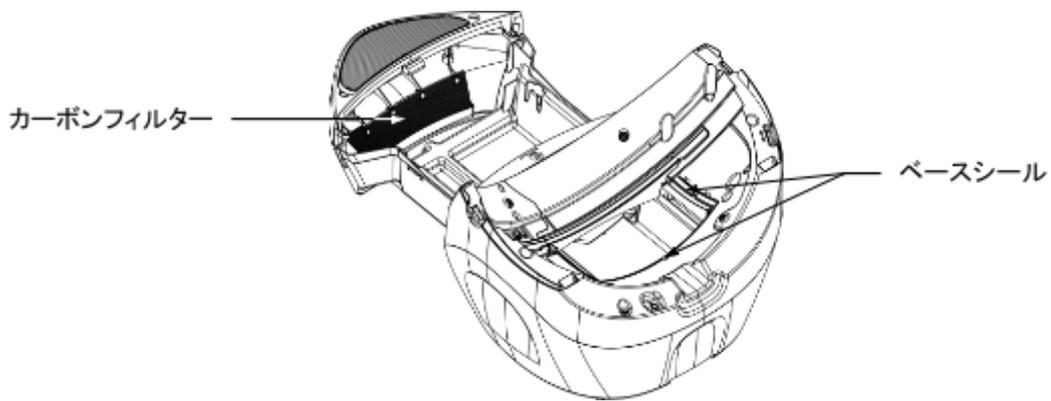
セット完了

カーボンフィルター

トイレロボットのトレーには、臭いを吸収するカーボンフィルターパッドが取り付けられています。トレーを掃除する時に、カーボンフィルターは簡単に取り外して交換できます。カーボンフィルターはクリーニング機能に必要なものではなく交換頻度も決まってはいませんが、フィルター一枚の効果が続くのは通常の使用で数ヶ月間です。交換用フィルターキット(フィルター3枚入り)は、088-635-0277 か www.robotshop.com/jp のカスタマーサービスで注文できます。

ベースシール

トイレロボットには、ゴミ受けトレーやベース内に臭気を閉じ込めておくのに役立つブラシ型のシールが付いています。交換用シールは必要に応じてカスタマーサービスから注文できます。



トイレロボットを空にする

エンプティボタンを押し、ドームを時計回りに回転させ排出ポジションにします。猫砂がゴミ受けトレーに排出された後、操作パネルのいずれかのボタンを押すとドームはホームポジションに戻ります。ドーム内に残った猫砂はブラシで取り除きます。

ドームのお手入れ

トイレロボットを掃除する前に猫砂が残っていないことを確認してください。濡れた猫砂は粘土状になりこびりつきます。

ドームから猫砂を取り除き、カバー両脇のラッチを押して固定を解除し、カバーを後ろに倒すように持ち上げベースから外します。これで、ドームは持ち上げるだけで外せます。廃棄口の部分を使うと持ちやすくなります。ドームは、水と中性洗剤で洗えます。ドームには、石鹼や水で故障してしまう電子部品がありません。ドームの汚れがひどい場合には、水に漬けたり、ホースや高圧洗浄機で洗うこともできます。ドームをベースに戻す前に、ドームが完全に乾燥していることを確認してください。

ゴミ受けトレーのお手入れ

トレーは簡単に取りはずせ、洗剤と水で洗えます。ゴミ受けトレーを掃除する時には、必ずカーボンフィルターを取り外してすすぎ洗してください。カーボンフィルターは乾燥してから取り付けてください。

ベースのお手入れ

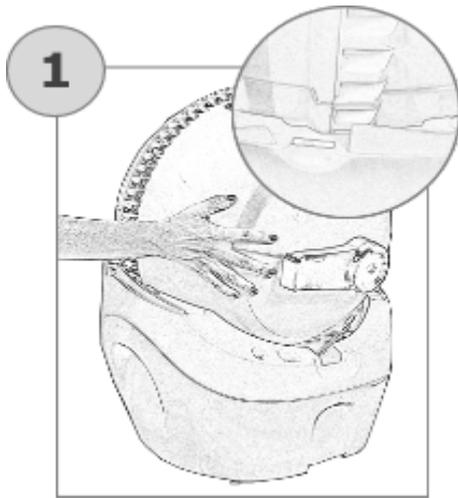
水をかけたり、水に浸けたりしないでください。ベース部分には、猫センサーなど電子機器があります。表面のお手入れは、消毒液で湿らせた布で拭きます。漂白剤は使用しないでください。

使い捨てのペーパータオルを使えばドームの内側や上半分の簡単なお手入れができます。この場合、猫砂を排出する必要はありません。ロボットトイレが濡れることもないため、すぐに使うこともできます。

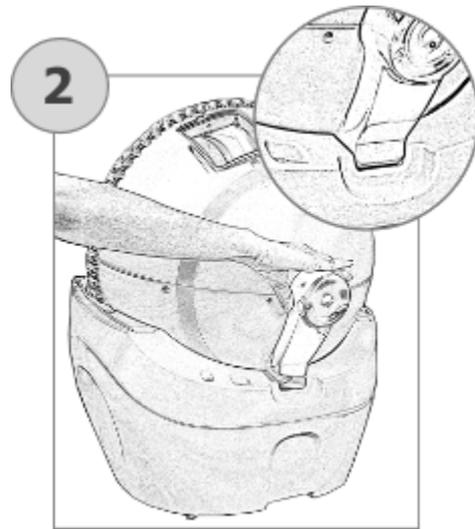
ドームとカバーの再取り付け

1. ドームのギザギザの歯をベースの溝に合わせ、ホームポジションの位置になるようにベースの上に置きます。ドームの回転軸は床に対して20度の角度がつけられているため、ベースに乗せた場合にも傾きがあります。
2. ドーム背面のキーを回し、ベースのポケットに入れます。キーが適切に機能し、内部シールドの動きを制御するためには、ベースのポケット入っている必要があります。
3. カバー底面後部のタブをベースの小さな穴に差し込みます。

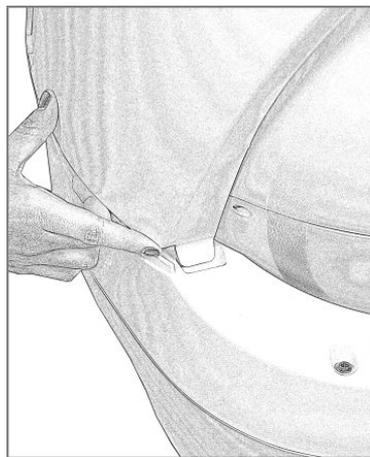
4. そのままカバーを前方に倒しながら、軽くベースに押し付けます。ベースのスロット口の位置にカバーのスナップがあることを確認します。カバーのスナップをベースのスロットに差し込み、上からカバーを押し下げ、カバーのスナップがかかり、確実に固定されたことを確認します。トイレロボットにカバーを付けない状態での運転はできません。



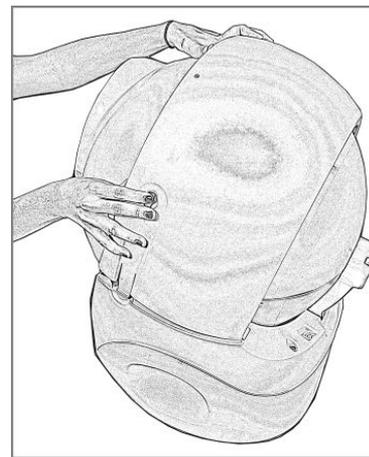
カバーがない状態で、ドームの歯がベースユニットの溝に合っていることを確認します。



キーを回しベースのポケットに差し込みます。



カバー底面後部のタブをベースの穴の位置に合わせ差し込みます。



カバーを前方向に倒しスナップタブと、ベースのスロットの位置を合わせます。位置があったら、スナップタブで固定されるように下方方向に押さえカバーを確実に固定します。

安全機能

ドームカバー

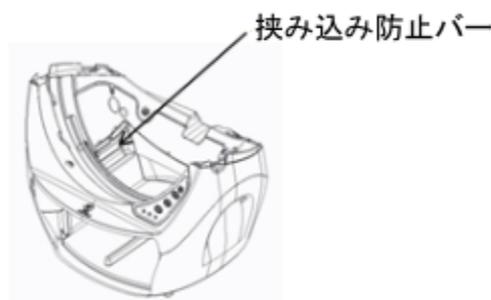
カバーは、回転するドームと、ドームに開いた廃棄口を保護します。また、カバーには自動ナイトライト、配線、ナイトライトに安全な低電圧5V DCの電気を供給する電気端子が付けられています。ドームは、カバーが取り付けられていないと回転しません(13ページ「操作パネル - インジケータライト」の黄色LED点滅をご覧ください)。

クリーニング中の侵入

クリーニング中に猫センサーが猫を検知するとドームの回転が停止します。トイレロボットは、クリーニング再開まで15秒間待機します。ステップやステップマットに猫の体重がかかっても猫センサーは反応せずドームの回転は停止しません。これは、ドームの回転を停止することが猫が中に入ることを防ぐための意図的なものです。しかし、猫がドームの中に入った途端、ドームの回転は停止します。

挟み込み防止機能

トイレロボットは、猫にとってより安全なものであるために挟み込み防止機能を備えています。挟み込みを検知すると、ドームは自動的に停止した後、逆方向に約2秒間回転します。そして、黄色のLEDが1分間、毎秒2回点滅します。



内部シールド

内部シールドは、ドーム内部を猫が使用するスペースと処理スペースの境になるもので、猫が排泄物や猫砂のカスに触れることを防ぎます。

自動停止

ドームがひっかかったり、過負荷が生じると、モーターが停止し、操作パネルの黄色のLEDと赤色のLEDが交互に点滅します。トイレロボットをリセットする手順は次の通りです。

1. 電源をオフにし、コンセントを抜きます
2. 詰まったり、余分な猫砂を取り除きます
3. ドームをホームポジションに再取り付けます
4. 背面に電源コードを差し込み、電源をオンにします。トイレロボットはクリーニングを行い、青色のLEDが点灯しホームポジションに戻ります。この状態が続く場合には、カスタマーサービスまでメールでお問い合わせください japan-support@robotshop.com。

返金保証と製品保証

90日間のお試し期間

トイレロボットにご満足いただけない場合には90日以内に返品してください。ご購入価格を返金させていただきます。なお、返品時の送料はお客様のご負担となります。

AutoPets以外のお店等でトイレロボットをご購入いただいた場合には、販売店の返品ポリシーに従った返品方法をご相談ください。

RobotShopでご購入いただいた場合には、RMA番号の取得のために japan-support@robotshop.com までメールでお問い合わせください。RMA番号なしの返送は受けられません。返品方法の案内をもご覧ください。

運搬中の損傷を避けるため、ごみロボットは掃除し、十分な梱包(元の梱包材が最適です)を行ってください。返品方法の案内には、トイレロボットの梱包方法が図示されています。

18ヶ月の完全保証

トイレロボットには、購入場所に関わらずご購入日から18ヶ月間の完全保証が付いています。保証には、すべての部品と工賃が含まれます。送料は地域により異なります。

カスタマーサービスへのお問い合わせ

ご質問、ご不明点、サポートが必要な場合には、RobotShopまで遠慮なくお問い合わせください。

japan-support@robotshop.com

088-635-0277

月～金:10:00～12:00、14:00～17:00（土日祝日は除く）日本時間
修理が必要な場合には、発送する前にメールでRMA番号を取得してください。

www.robotshop.com/jp

よくある質問

うちの猫はトイレロボットの中に入るでしょうか？

猫は好奇心が強く新しい物に興味を示します。フード付きトイレを使っている猫なら、すぐに近づいてくるでしょう。トイレロボットを元のトイレと同じ場所に設置することをお勧めします。元のトイレも短期間トイレロボットの近くに置いておいてかまいません。元のトイレの砂を1カップほどトイレロボットの新しい砂の上にかけてください。こうすることで、慣れた匂いに猫が安心してくれます。猫がトイレロボットの中の猫砂に足をいれさえすれば、これが何かわかってくれるはずですよ。

子猫もトイレロボットを使えますか？

子猫や体重が2.5Kg以下の猫が、目の届かない場所で自動モードのトイレロボットを使用することはお勧めできません。体重が少ないと猫センサーが検知できない場合があります。自動モードでトイレロボットを使用するには、猫の体重が2.5Kg以上必要です。

自動モードの代わりにトイレロボットをオフのままにしておきます。猫がトイレを使った様子があったら電源をオンにすると自動的にクリーニングが行われます。家にいるすべての猫が、猫センサーで検知できる十分な体重があることを確認できるまで「半自動モード」で使用してください。

猫がどうしてもトイレロボットを使ってくれません

トイレロボットにご満足いただけない場合は、ご購入から90日以内に返品してください。ご購入価格を返金させていただきます。返品時の送料はお客様のご負担となります。カスタマーサービスに返品承認(RMA)番号をお問い合わせください。RMA番号なしの返送は受付できません。

ドームが回転している時に猫が中に入ろうとした場合はどうなりますか？

猫がドームの中に入ると猫センサーがそれを検知して回転が止まります。そして、15秒後に(猫がドームの外に出た頃)クリーニングを再開します。

ドームの中に尖ったものやケーブルなどはありますか？

いいえ。ドームの中には猫を傷つけたり危害を及ぼす恐れのある尖ったものやケーブルなどはありません。トイレロボットは猫の安全に配慮して設計されています。

猫にとって、電子機器や電源は危険ではありませんか？

いいえ。トイレロボットは家庭内で使用される時計付きラジオや携帯電話の充電に使われるようなアダプタを使い、安全なDC 15Vで動作します。すべての電気部品はベース内に収められているため、猫が触れることはありません。ドームの内部には電気部品はありません。

ドームの中に猫がいる時に回転することはありますか？

いいえ。猫が中にいる間は、ドームは回転しません。猫センサーは猫が入るたびに検知し、その都度カウントダウンタイマーがリセットされ、次のクリーニングまで改めて7分間のカウントダウンを開始します。

ドームがひっかかった場合はどうなりますか？

ドームがひっかかったり、過負荷状態になると、モーターは自動的に停止します。また、トイレロボットには挟み込み防止装置が装備されています。

トイレロボットには特別な猫砂が必要ですか？

いいえ、トイレロボットには特別な猫砂は必要ありません。トイレロボットは、ほとんどの鉱物系の固まる猫砂で良好に動作します。シリカゲルのビーズや結晶の猫砂もトイレロボットで使用できます。トイレロボットで使用できない猫砂は、吸収タイプ、固まらないタイプ、再生新聞紙タイプ、固まる力が弱いもの、吸収タイプの木質ペレットの猫砂などです。

どのくらいの量の猫砂を入れればいいですか？

最初におよそ4.5～5Kgの猫砂が必要です。何回かのクリーニングで、ドームからゴミ受けトレーに排出される猫砂の量が多すぎる場合には、猫砂の量が適量ラインを超えていないことを確認してください。排泄物は毎回のクリーニングで取り除かれるため、ドーム内に余分に猫砂を入れておく必要はありません。

どのくらいの頻度で、猫砂を追加する必要がありますか？

2匹の小型の猫(約4Kg程度)の場合で、週に1回か、それより少ない頻度で猫砂を追加する必要がありました。特許取得済みのふるい分け機構は、固まりだけを除去するためトイレロボットは猫砂をとっても効率的に使用します。

ドームが回転して猫砂が動くことでホコリがでますか？

いいえ、ドームは非常にゆっくりと回転するため、ホコリの量はごくわずかです。

どのくらいの頻度でゴミ受けトレーを空にしなければなりませんか？

猫の数と大きさにより変わってきます。平均的な大きさの猫2匹の場合、週2回が一般的です。猫が一匹なら、一週間に一度で通常は十分です。

どのくらいの頻度で、ドームの内部をきれいにする必要がありますか？

これはお使いの環境や猫の行動により変わってきます。しかし、1～3ヶ月おきにドームの中をきれいにすることをお勧めします。

トイレロボットの外側はどのように掃除しますか？

トイレロボットの外側の掃除は簡単です。ドームとトレーは取り外してスポンジなどで拭くか、ホースなどで丸洗いです。他の部分も表面を拭くことはできますが、水はかけないでください。

注意: トイレロボットのベースとカバーには電気部品が付いているため水をかけないでください。詳細は、使用方法とお手入れのセクションを参照してください。

トイレロボットの大きさはどのくらいですか？

- 組み立てられた状態のトイレロボットのサイズは、高さ73cm、幅60cm、奥行き67cmです。
- ゴミ受けトレーのサイズは幅31cm、長さ40cm、深さ12.5cmです。
- 楕円形の出入り口のサイズは高さ39cm、幅25cmです。
- 猫砂を適量入れた場合の砂の広がり35cm前後になります。
- ドーム内部の高さは猫砂の量により変わりますが37.5cm～42.5cmです。ドーム内部の広さは、最も広い部分で奥行き50cm、深さ50cm前後です。

トラブルシューティング

黄色と赤色のLEDが順番に点滅:

モーターが障害物や引っかかりを検出しました。電源のオフ、オンでリセットします。

赤色のLEDが点滅:

猫センサーが2分以上連続して検知状態になっています。猫砂が多すぎるなど、余分な重量がかかっているかを確認してください。リセットボタンを押すか、電源のオフ、オンで猫センサーをリセットします。

黄色のLEDが点滅:

遅い点滅(約1秒に1回):クリーニングが中断されました。クリーニング中に猫センサーが検知状態になったか、カバーが外された時にこの状態になります。ドームは15秒間停止します。15秒後に中断を続ける条件がない場合、黄色のLEDが点灯しドームの回転が再開されます。

速い点滅:挟み込みが検出されています。ドームの回転が停止した後に逆転し、その1分後に再開されます。

青色のLEDが点滅:

青色のLEDは、ゴミ受けトレーが一杯になると点滅します。確認するか、ゴミ受けトレーを空にしてからリセットボタンを押してください。

青色と黄色のLEDが点灯:

トイレロボットは8時間のスリープモードになっています。猫センサーは検知を停止し、**サイクル** ボタンを手動で押した時だけクリーニングが行われます。この状態は、最初に設定した時から24時間ごとに繰り返されます。

青色 → 黄色 → 赤色の順番に点滅:

トイレロボットがゴミの排出ポジションを検出できません。電源のオフ、オンでリセットします。この状態が続く場合は、カスタマーサービスまでご連絡いただき修復方法をご相談ください。

赤色 → 黄色 → 青色の順番に点滅:

トイレロボットがホームポジションを検出できません。電源のオフ、オンでリセットします。この状態が続く場合は、カスタマーサービスまでご連絡いただき修復方法をご相談ください。

青色、黄色、赤色が同時に点滅:

トイレロボットがホームポジションと排出ポジションを検出できません。電源のオフ、オンでリセットします。この状態が続く場合は、修復方法の確認のためにカスタマーサービスまでご連絡ください。